

Pioneer



チューナー MD CD デッキ アンプ

FH-401

取扱説明書

carrozeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

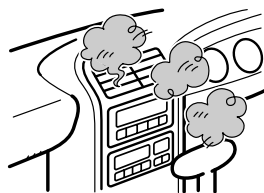
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

- 1 各部のなまえ 6

ここだけでここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 CDのふだんの操作 10
 - CDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - CDを取り出す
- 3 テープのふだんの操作 12
 - テープをセットする
 - 再生する面を選ぶ
 - 音量を調節する
 - テープを取り出す
- 4 MDのふだんの操作 14
 - MDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - MDを取り出す
- 5 ラジオのふだんの操作 16
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する

CDを聞く

- 1 同じ曲を繰り返し聞く 18
- 2 いつもと違う曲順で聞く 18
- 3 聞きたい曲をさがす 19

テープを聞く

- 1 早送り/巻き戻しをする 20
- 2 頭出しをする 21
- 3 同じ曲を繰り返し聞く 22
- 4 長い無音部分を自動的に早送りする 22
- 5 ドルビー B NR 23

MDを聞く

- 1 同じ曲を繰り返し聞く 24
- 2 いつもと違う曲順で聞く 24
- 3 聞きたい曲をさがす 25
- 4 表示を切り換える 26

ラジオを聞く

- 1 受信状態の良い放送局を
一時的に記憶させる 28
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 29
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 29
- 4 交通情報を受信する 30
- 5 交通情報局を変更する 30

C O N T E N T S

ここだけ読めば
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他

その他の機能と付録

1	オーディオ調節モードの 切り換えかた	32
2	低音を調節する	32
3	高音を調節する	33
4	前後の音量バランスを調節する	33
5	左右の音量バランスを調節する	34
6	時計を表示させる	34
7	時計を合わせる	35
8	CDの正しい使いかた	36
9	テープの正しい使いかた	38
10	MDの正しい使いかた	39
11	故障かな？と思ったら	40
12	こんなメッセージが表示されたら	43
13	保証書とアフターサービス	44
14	おもな仕様	46

はじめに

CDを聞く

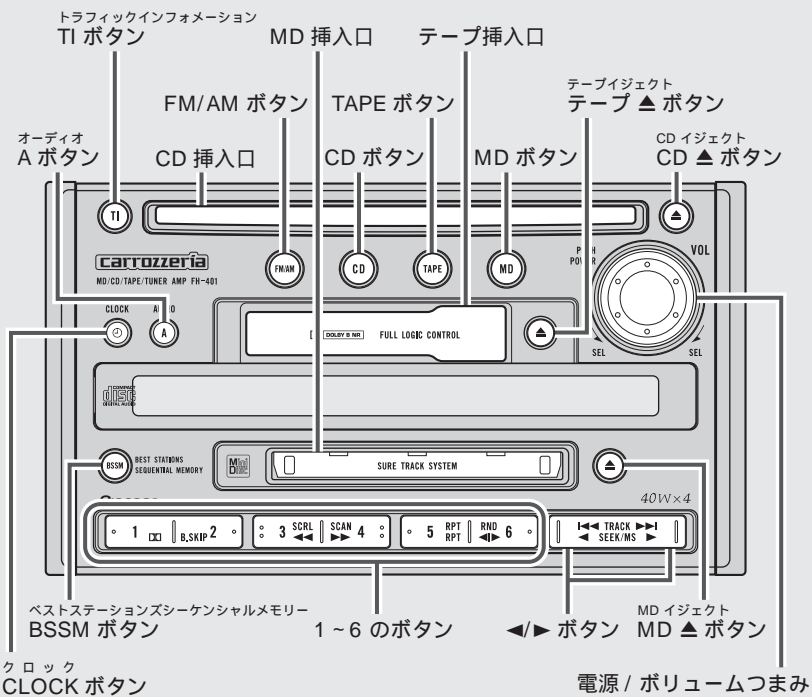
テープを聞く

MDを聞く

ラジオを聞く

その他の機能と付録

本機「FH-401」



ここだけで

1

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1

電源を入れる

電源/ボリュームつまみを押す

本機の電源が入ります。

2

ソースを切り換える

FM/AM ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FM

AM

FMに戻る

CD ボタンを押す

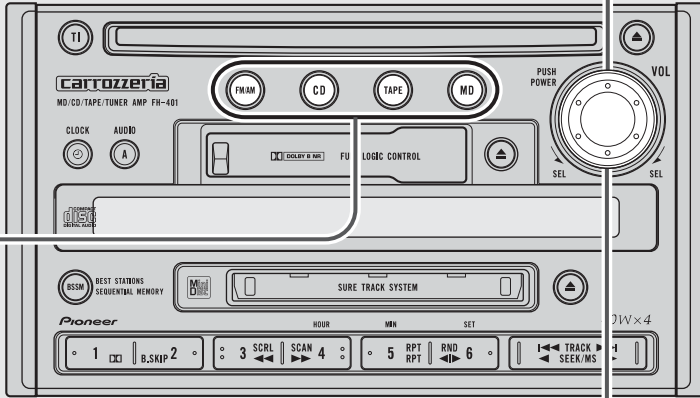
CDがセットされていると、CD再生に切り換わります。

TAPE ボタンを押す

テープがセットされていると、テープ再生に切り換わります。

MD ボタンを押す

MDがセットされていると、MD再生に切り換わります。



3 電源を切る

電源/ボリュームつまみを押す
本機の電源が切れます。

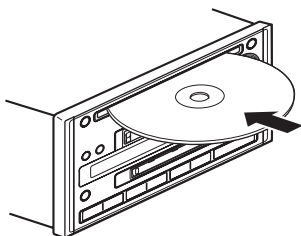
メモ

CDやMD、テープがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

ここだけの操作で、CD を聞くことができます。

1 CD を セットする

タイトル面を上にして、CD 挿入口に
差し込む



CD の再生が始まります。



CD が入っていると 再生経過時間
きに表示されます。

CD シングル (8 cm CD) もアダプター
なしでセットできます。アダプターは
絶対使用しないでください。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.8 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.8 秒以上押し 続けている間

メモ

CD をセットしたまま電源を OFF にしたり、他の
ソース (ラジオやテープなど) に切り換えること
もできます。(※ ここだけで ① 8 ページ)
エンジンスイッチが “OFF” でも CD を取り出すこ
とができます。

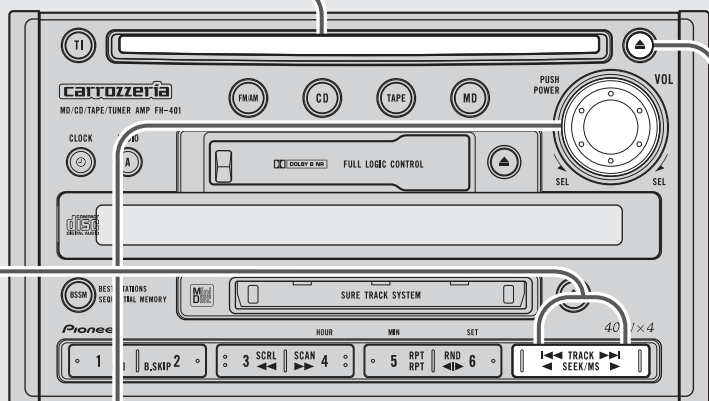
早戻しをする

音量を調節する

CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側：大きくするとき

左側：小さくするとき



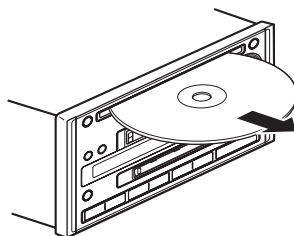
0～30の範囲で
調節できます。

約6秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

CD ▲ボタンを押す

CDが出てきます。

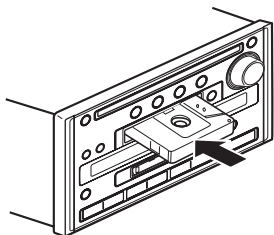


出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、テープを聞くことができます。

1 テープを セットする

テープ面を右側にして、テープ挿入口に差し込む



テープの再生が始まります。



メタル/クロームテープを再生中に表示されます。

2 再生する面を 選ぶ

6のボタンを押す

ボタンを押すごとに、再生する面が切り換わります。



▲ (上にした面を再生)

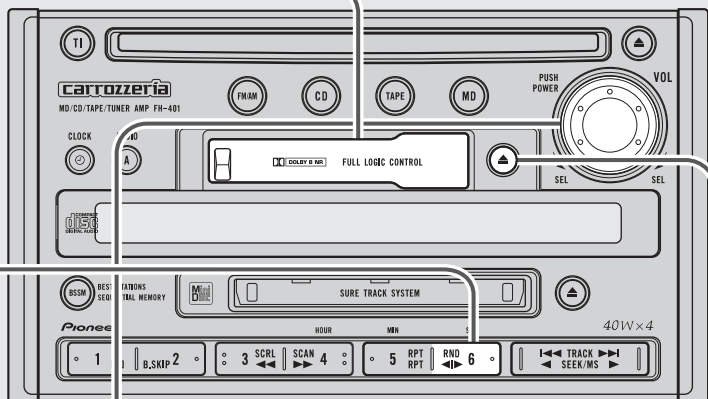


▼ (下にした面を再生)

メモ

テープをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(※ここだけで①8ページ)

エンジンスイッチが“OFF”でもテープを取り出すことができます。



3 音量を調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側：大きくするとき
左側：小さくするとき



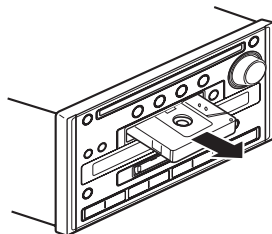
0～30の範囲で調節できます。

約6秒間、音量が表示されます。

4 テープを取り出してテープ再生をやめる

テープ▲ボタンを押す

テープが出てきます。

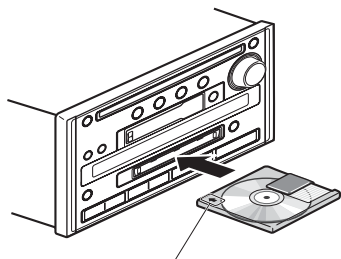


出てきたテープはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

1 MDを セットする

MDのラベル面を上にして、MD挿入口に差し込む



矢印の向きに差し込みます

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

MDの再生が始まります。



MDが入っているときに表示されます。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.8秒未満
曲の早送り/早戻し	0.8秒以上押し 続けている間

メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやテープなど)に切り換えることもできます。(☞ここだけで①8ページ)
録音していないMDを差し込むと強制的にイジェクトします。
エンジンスイッチが“OFF”でもMDを取り出すことができます。

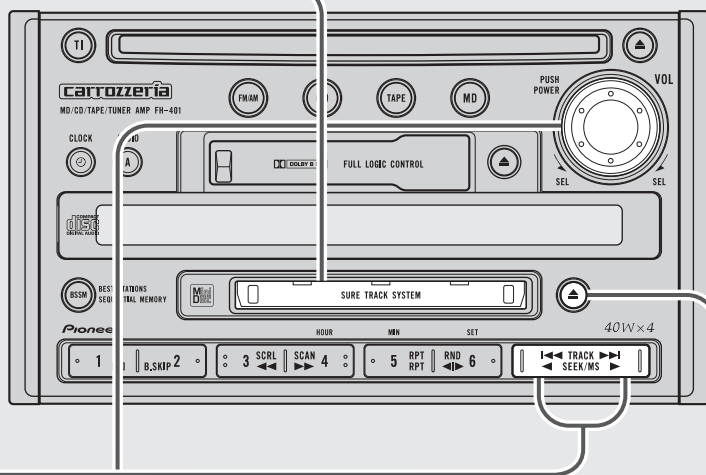
早戻しをする

音量を調節する

MD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側：大きくするとき
左側：小さくするとき



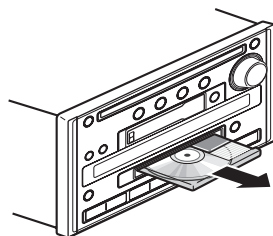
0～30の範囲で
調節できます。

約6秒間、音量が表示されます。

4 MDを取り出して MD再生をやめる

MD ▲ボタンを押す

MDが出てきます。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

FM/AM ボタンを押す

ラジオを受信します。

 FM ch1 76.0

ステレオ放送を受信
すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

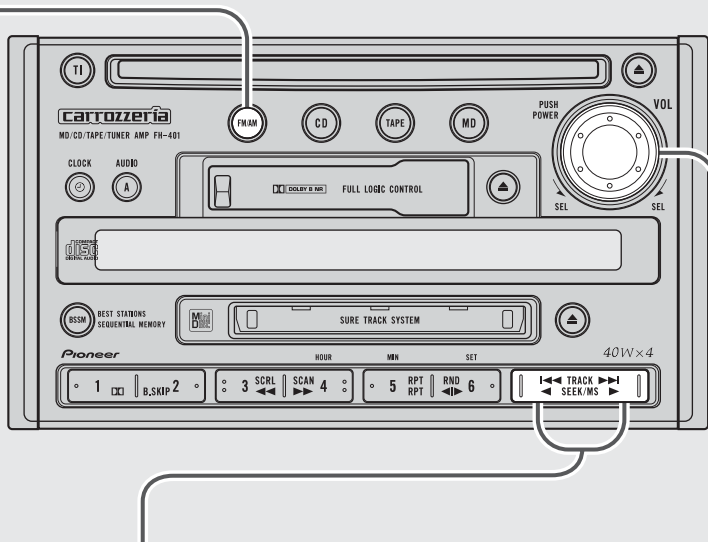
FM/AM ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FMとAMが切り換
わります。

AM ch1 522

FM ↔ AM

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.8秒未満

自動選局 0.8秒以上

1.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

4 音量を 調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側 : 大きくするとき

左側 : 小さくするとき

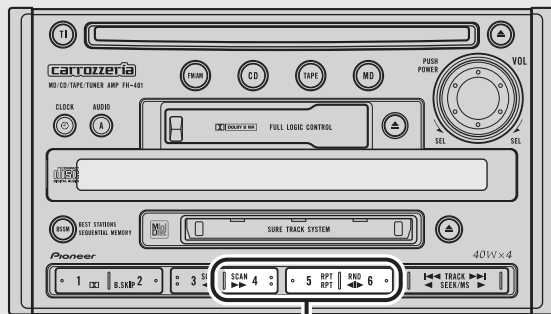


0~30の範囲で
調節できます。

約6秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで 8 ページ)



4~6のボタン

CD
1

同じ曲を繰り返し 返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞きことができます。

リピート再生を
ONにする

5のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



リピート再生中に表示されます。

今聞いている曲を繰り返し再生します。

CD
2

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

ランダム再生をONにする

6のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



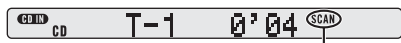
ランダム再生中に表示されます。

ランダムに選曲します。

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャン再生を始める

4のボタンを押す



スキャン再生中に表示されます。

曲の始めの約10秒間を次々に再生します。

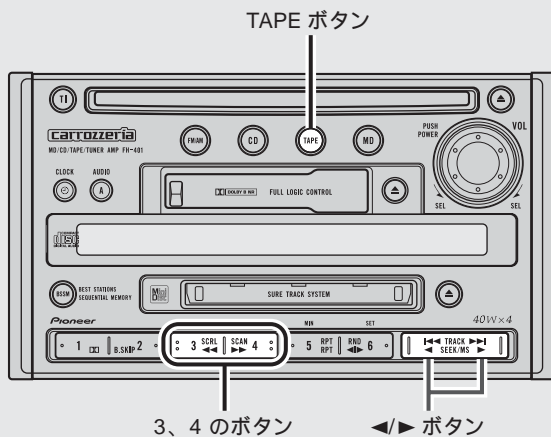
2 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

もう一度4のボタンを押す



メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。



テープ 1 早送り/巻き戻しをする

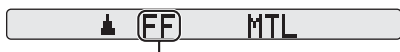
早送り/巻き戻し

早送り/巻き戻しをして、曲の聞きたいところから再生を始めることができます。

早送りする

4 のボタンを押す

もう一度押すと、早送りが解除されます。



早送り中に表示されます。

巻き戻しする

3 のボタンを押す

もう一度押すと、巻き戻しが解除されます。



巻き戻し中に表示されます。

いま聞いている曲の前後9曲の中から希望の曲の頭出しができます。

次の曲の頭出しをする

▶ のボタンを頭出ししたい曲の曲数だけ押す



後の曲の頭出し中に表示されます。

前の曲の頭出しをする

◀ のボタンを頭出ししたい曲の曲数だけ押す

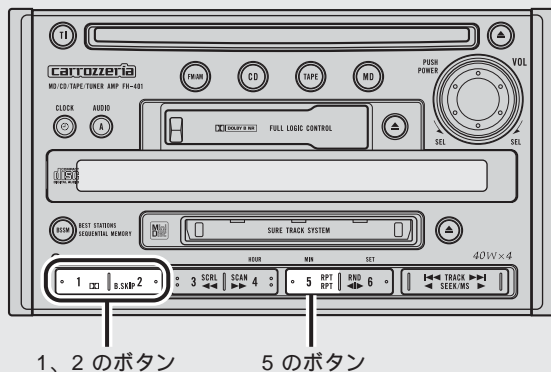


前の曲の頭出し中に表示されます。

メモ

前の曲へ戻すときは、今お聞きになっている曲も曲数に含まれます。

頭出しを途中で解除するには、頭出し動作中に◀または▶ボタンを押します。また、TAPEボタンを押しても解除できます。



テープ
3

同じ曲を
繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

リピート再生を
ONにする

5のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



リピート再生中に表示されます。

今聞いている曲を繰り返し再生します。

テープ
4

長い無音部分を
自動的に早送りする

ブランクスキップ

テープ再生中に15秒以上の無音部分(あき)があった場合、自動的に次の曲の始めまで早送りさせることができます。

ブランクスキップを
ONにする

2のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



ブランクスキップがONのときに表示されます。

ドルビー B NR ONで録音したテープを聞くときは、本機もドルビー B NR ONにしてください。

ドルビー B NR を ONにする

1のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。

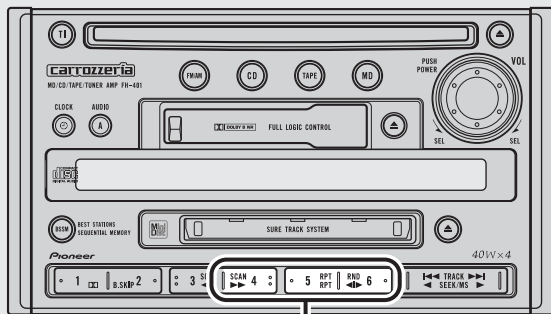


ドルビー B NR が ON
のときに表示されます。

メモ

ドルビー NR システムは、テープ再生中に生じる“サー”という雑音（ヒスノイズ）を減らすシステムです。

ドルビー ノイズリダクションはドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY 及びダブルD記号はドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの登録商標です。



4~6のボタン

MD
1

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

リピート再生を
ONにする

5のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



リピート再生中に表示されます。

今聞いている曲を繰り返し再生します。

MD
2

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

ランダム再生をONにする

6のボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。



ランダム再生中に表示されます。

次の曲から、ランダムに選曲します。

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャン再生を始める

4のボタンを押す



スキャン再生中に表示されます。

曲の始めの約10秒間を次々に再生します。

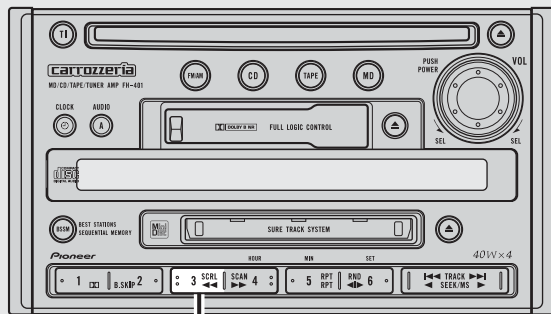
2 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

もう一度4のボタンを押す



メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。



3のボタン

MD 4 表示を切り換える

タイトル表示 / 再生経過時間表示

タイトルが入っているMDを再生すると、自動的に次のように表示が切り換わります。また、トラックタイトル表示と再生経過時間表示を切り換えることができます。

MDモード表示 (スクロール)



ディスクタイトル表示 (スクロール)



トラック番号表示



トラックタイトル表示 (スクロール後固定表示)



メモ

ディスクタイトルが入っていない場合、ディスクタイトル表示はしません。

トラックタイトルが入っていない場合、トラックタイトル表示はしません。トラックタイトルのかわりにトラック番号/再生経過時間表示をします。スクロール表示される文字数は、最大16文字です。

トラックタイトルで固定表示する文字は、タイトルの先頭から10文字です。

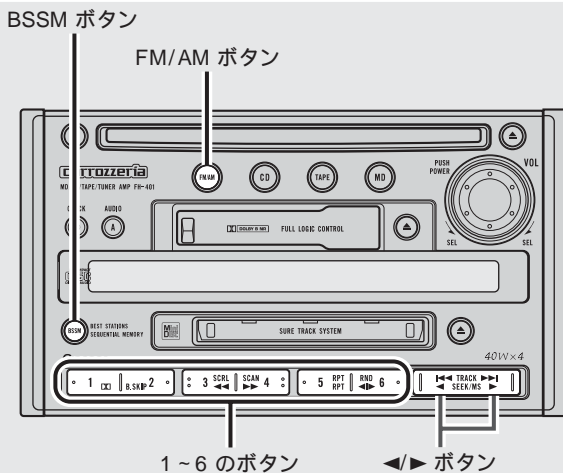
トラックタイトル表示中に3のボタンを押すと、ディスクタイトルから表示をしないおします。タイトルに漢字が含まれている場合、そのタイトルは表示できません。

再生経過時間表示にする

3のボタンを0.8秒以上押し
もう一度押しと、タイトル表示に戻ります。



タイトル表示からトラック番号/再生経過時間表示に切り換わります。



ラジオ 1

受信状態の良い放送局を一時的に記憶させる

BSSM

自動的に受信状態の良い放送局をさがして、周波数の小さい順に1~6のボタンに一時的に記憶させ、その中から選局することができます。

1 バンドを選ぶ

FM/AM ボタンを押す

2 BSSM を始める

BSSM ボタンを1.7秒以上押す
(BSSM ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。



受信中の記憶番号

記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

3 記憶させた放送局の中から選局する

1~6のボタンを押す



プリセットメモリーで記憶させた放送局を呼び出したい場合は、BSSM ボタンを押してBSSMを解除してください。BSSMを解除すると、BSSMで一時的に記憶させた放送局は消去されます。

メモ

BSSMで記憶される放送局は、FM、AMとは別のバンドに記憶されます。BSSMを行って放送局を記憶させてもBSSMを解除すると、FM、AMで記憶しておいた放送局を呼び出すことができます。受信状態の良い放送局が6局より少ない場合、放送局が記憶されないボタンもあります。そのボタンを押すと、“---”が表示され音声はでません。BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

ラジオ

2

放送局を 1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

FM/AM ボタンを押す

2 記憶させたい放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す
(16 ここだけで 16 ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを1.7秒以上押す

FM (ch1) 79.5

押したボタンの番号(記憶番号)が点灯します。

受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (16 ラジオ 16)

ラジオ

3

記憶させた放送局を 呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

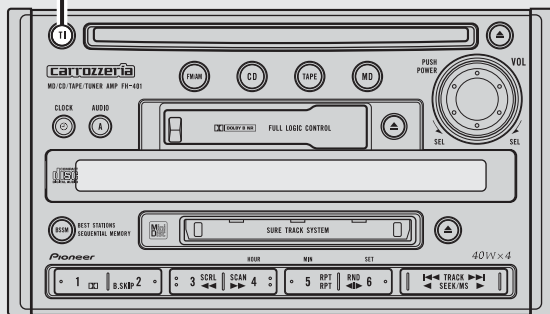
FM/AM ボタンを押す

2 記憶させた放送局を呼び出す

1～6のボタンの1つを押す

FM ch1 79.5

TI ボタン



ラジオ 4 交通情報を受信する

交通情報を簡単に受信することができます。

交通情報を受信する

TI ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFFします。

Traf. 1620

AM 1,620 kHz の交通情報を受信します。

メモ

この機能は、どのソースからでも操作できます。交通情報のままエンジンスイッチをOFFにすると、再度エンジンをかけたときは交通情報に切り換える前のソースに切り換わります。

ラジオ 5 交通情報局を変更する

交通情報局を AM1,620 kHz 以外に変更することができます。

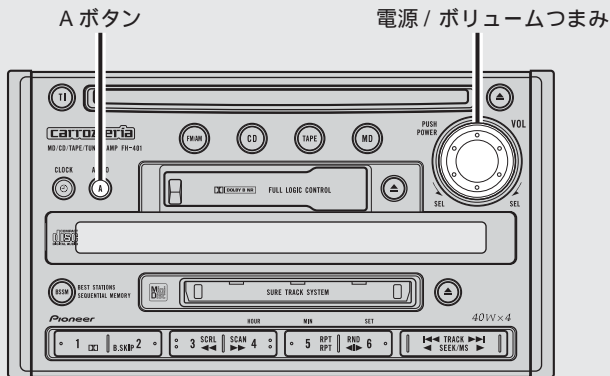
1 AM 放送で記憶させたい交通情報局を選局する (⑧ ここだけで⑨ 16 ページ)

2 選局した交通情報局を記憶させる

TI ボタンを 1.7 秒以上押す

AM 1629

次から記憶させた交通情報局を受信します。



その他
1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

オーディオ調節モードを切り換える

A ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

低音調節モード (☞ その他②)

高音調節モード (☞ その他③)

前後音量バランス調節モード (☞ その他④)

左右音量バランス調節モード (☞ その他⑤ 34 ページ)

オーディオ調節モード解除

メモ

オーディオ調節モードは、約3秒間何も操作しなかった場合、自動的に解除されます。

その他
2

低音を調節する

バス

低音を強めたり弱めたりすることができます。

1 低音調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ (☞ その他①)



2 低音を調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側：強めるとき

左側：弱めるとき



－5～5の範囲で調節できます。

その他

3

高音を調節する

トレブル

高音を強めたり弱めたりすることができます。

1 高音調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ (電源/その他①)



2 高音を調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側：強めるとき

左側：弱めるとき



- 5 ~ 5 の範囲で調節できます。

その他

4

前後の音量バランスを調節する

フェーダー

前後のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 前後音量バランス調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ (電源/その他①)



2 前後の音量バランスを調節する

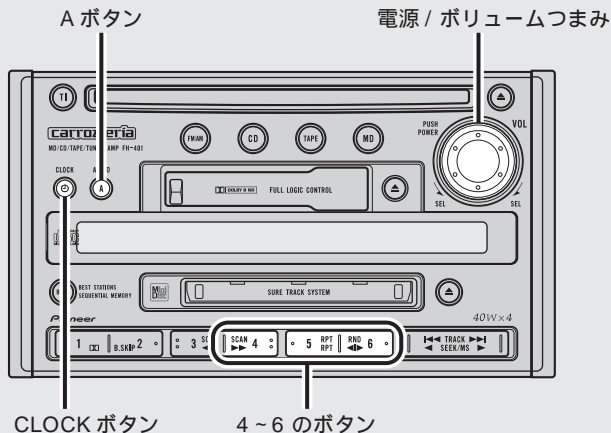
電源/ボリュームつまみを回す

右側：前を強めるとき

左側：後ろを強めるとき



F9 ~ R9 の範囲で調節できます。



その他
5

左右の音量バランスを調節する

バランス

左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 左右音量バランス調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ (☞ その他① 32 ページ)



2 左右の音量バランスを調節する

電源/ボリュームつまみを回す

右側：右を強めるとき

左側：左を強めるとき



L9 ~ R9 の範囲で調節できます。

その他
6

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がOFFでも、エンジンスイッチがACCまたはONの位置にあれば、時計を表示させることができます。

時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFF します。



メモ

時計表示のときに時計合わせ (☞ その他⑦) 以外の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約5秒後に時計表示に戻ります。

時計を合わせることができます。

時計を合わせる

1 時刻調整モードにする

CLOCK ボタンを 2 秒以上押す

2 「時」を合わせる

4 のボタンを押す
ボタンを押すごとに、1 時間ずつ進みます。

3 「分」を合わせる

5 のボタンを押す
ボタンを押すごとに、1 分ずつ進みます。

4 時刻調整モードを解除する

CLOCK ボタンを押す

メモ

4、5 のボタンで時刻を調整後、ボタンを離れた時点から秒のカウントが始まります。

時報で時計を合わせる

1 時刻調整モードにする

CLOCK ボタンを 2 秒以上押す

2 時報で合わせる

時報に合わせて、6 のボタンを押す
「分」が “ 00 ” になり、時刻調整モードが解除されます。

例) 10:00 ~ 10:29 10:00
10:30 ~ 10:59 11:00

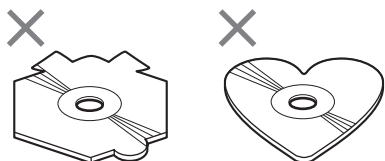
この操作により、時計の誤差を解消できます。

使用できるCDについて

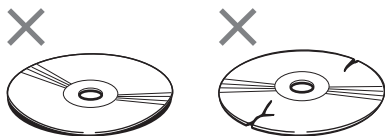
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

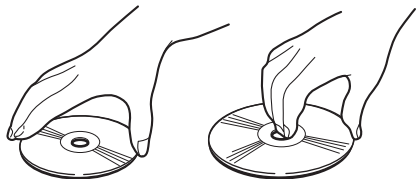


ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



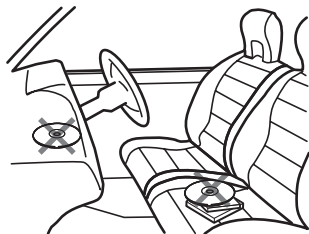
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



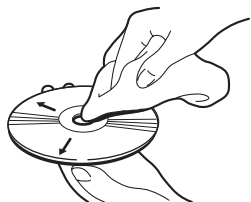
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

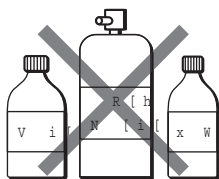
製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」(オプション)を用意しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

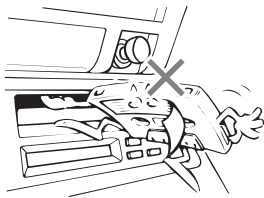
寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

テープの正しい使いかた

ご使用になるテープについて

ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。ラベルが引っかかり、テープが取り出せなくなります。このようなテープは、ラベルをはがしてからお使いください。



C-90 (90分用)までのテープをお使いください。

C-120 (120分用)のテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、テープが回転部分に巻き付いたり、切れたりすることがあります。

保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、テープを保管しないでください。テープが変形してしまいます。



スピーカーの近くや磁石の近くなど、磁気のあるところにテープを保管しないでください。

テープを聞かないときは、テープがゆるまないようにカセットケースに入れて保管してください。

ヘッドのお手入れについて

テープのヘッドは、月に1～2回程度クリーニングしてください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪くなったり、音とびを起こしたりします。定期的にクリーニングするように心がけてください。

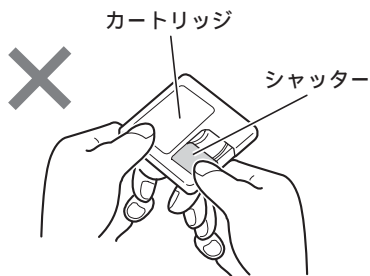
ヘッドのクリーニングには、クリーニングカセット「ST-650」(別売)をおすすめします。テープ再生と同じようにセットするだけで、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなど、テープデッキの内部の汚れを一度に清掃してくれます。カーステレオ販売店で買い求めください。



市販のクリーニングテープをお使いになるときは、説明書や注意書きを十分お読みください。また、一度の清掃につき片面1回だけ走行させてください。何度もテープ走行させると、ヘッドの磨耗を早めますのでご注意ください。

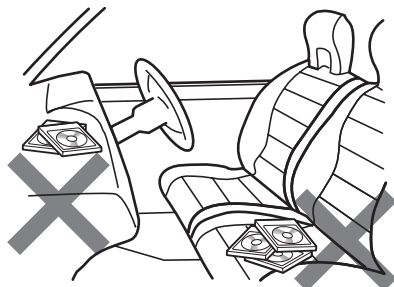
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



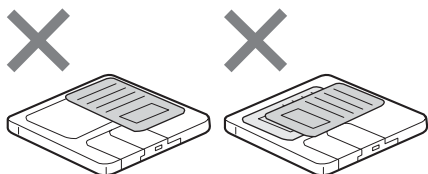
保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

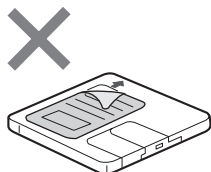


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

保証書とアフターサービス (☞ その他 44 ページ) をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで 2 11 ページ) (☞ ここだけで 3 13 ページ) (☞ ここだけで 4 15 ページ) (☞ ここだけで 5 17 ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ その他 4 33 ページ)
前または後のスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ その他 4 33 ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ その他 5 34 ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他 6 37 ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他 6 37 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで 2 10 ページ)

テープ

症 状	原 因	処 置
テープ再生の途中で、再生面が自動的に切り換わる。	テープがからみついている。	テープを交換してください。
テープ再生の音質が悪い。	テープの巻きかたが乱れている。	早送りや巻き戻しをして、テープを均一に巻き直してください。 (<small>☞</small> テープ① 20 ページ)
	テープの録音状態が良くない。	ほかのテープと交換してください。 良くなればテープの不良です。
	ドルビー NR が正しく働いていない。	録音したときのドルビー NR と、本機のドルビー NR の ON/OFF を合わせてください。 (<small>☞</small> テープ⑤ 23 ページ)
	テープヘッドが汚れている。	テープヘッドの汚れを清掃してください。 (<small>☞</small> その他⑨ 38 ページ)
頭出しが正しく働かない。 リピート再生が正しく働かない。	曲と曲の間の“あき”が3秒以上ない。	“あき”が3秒以上のテープを使用してください。
	会話のように、音の途切れている部分が3秒以上続いている。	このような録音内容のテープでは、“あき”があると判断してしまうため、頭出しやリピート再生が正しく働かないことがあります。
	曲の途中で、非常に小さな音が3秒以上続いている。	


MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴がついている。	
	購入したばかり、または全曲を消去した録音用MDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで④ 14 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで⑤ 17 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで⑤ 17 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで⑤ 17 ページ)

CDやMDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「Err 1」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他 36 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
	追記型 CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型 CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「Err 5」	音楽以外の情報が録音された MD を使用しているとき。	音楽が録音された MD をお使いください。
「Err 2」 「Err 3」 「Err 4」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、CD や MD 再生を一度やめてから、もう一度再生にしてください。
「WAIT」		内部温度が下がるまでお待ちください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク

信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線

デジタル
フィルター : 8倍オーバーサンプリング

D/A
コンバーター : 1 Bit

周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 90 dB
(1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック
レンジ : 91 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク

信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線

デジタル
フィルター : 8倍オーバーサンプリング

D/A
コンバーター : 1 Bit

再生周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 96 dB
(1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック
レンジ : 94 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

カセットプレーヤー部

使用テープ
バック : コンパクトカセット
(C-30 ~ C-90)

テープ速度 : 4.8 cm/sec.

早送り/
巻き戻し時間 : 約 100 秒 (C-60)

回転ムラ : 0.09 % (WRMS)

再生周波数特性 : メタルテープ :
30 ~ 19,000 Hz (± 3 dB)

S/N : メタルテープ :
DOLBY B NR IN
67 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
DOLBY NR OUT
61 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)

ステレオ
セパレーション : 45 dB

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.0 ~ 90.0 MHz

実用感度 : 11 dBf (1.0 μV/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)

S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)

S/N
50 dB 感度 : 16dBf
(1.7 μV/75 、モノラル)

周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz

実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)

実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・共通部

- 最大消費電流 : 10 A
最大出力 : 40 W × 4
定格出力 : 20 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5%)
トーン
 コントロール : バス : ± 10 dB (100 Hz)
 トレブル : ± 10 dB (10 kHz)
ラウドネス
 コンター : +2 dB (100 Hz)、+4 dB (10 kHz)
 (ポリューム : - 30 dB)
負荷
インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)
使用電源 : DC 14.4 V
 (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
外形寸法
 (取付寸法) : 178 (W) × 100 (H) × 155 (D) mm
 (ノーズ寸法) : 170 (W) × 96 (H) × 11 (D) mm
質量 : 2.8 kg (コードユニット含まず)

付属品

- コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。
本機は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンスシングルコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾商品です。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1998

< 98I00F0T01 > < CRA2656-A >